

令和3年度宗像医師会事業報告

地域住民の生命、健康を守るため、また医師会員相互の親睦、福利厚生、医業経営の援助等のために、次の事業を行った。

1. 学術講演会・研修会事業（*継1）

安全で安心な医療を地域住民に提供するため、日本医師会生涯教育講座への参加を推進し、宗像臨床アーベント、宗像内科医会、宗像小児科医会、宗像学校医会の支援を行った。

WEB講演会、ハイブリッド講演会の開催がほとんどだったが、状況に応じて一部対面での開催も行った。

2. 救急医療事業（*継2）

地域医療に寄与するため、宗像地区急患センターにおける内科及び小児科の休日・夜間外来診療を年中無休の体制で行った。また、病院群輪番制病院等運営事業、休日外科当番事業による夜間・休日等の診療支援及び診療体制整備を行った。大規模災害時や感染症発生時に備え会員医療機関における緊急連絡網訓練を行い、宗像・福津両市をはじめ宗像・遠賀保健福祉環境事務所、宗像地区消防本部、宗像警察署等との緊密な協力体制、連携強化に努めた。

3. 学校検診事業（*継3）

1) 学校心臓検診

宗像市・福津市の小学校1年生・中学校1年生における心臓検診を、検診精度を高めるために包括的に支援した。心電図収録、学校心臓検診委員会で精密検査要検者の判定を行った。学校教育委員会、学校、学校医で構成する宗像地区学校検診委員会を開催し、年度総括、諸問題の協議を行った。

2) 学校腎臓検診

宗像市・福津市の小中学校における腎臓検診を、検診精度を高めるために包括的に支援した。学校腎臓検診判定委員会を開催し、尿検査における精密検査要検者の判定を行った。学校教育委員会、学校、学校医、検査センター、学校腎臓検診委員会委員で構成する宗像地区学校検診委員会を開催し、年度総括、諸問題の協議を行った。

4. 病院運営事業

1) 宗像医師会病院（地域医療支援病院）の運営（*継4）

地域医療支援病院として第一線の地域医療を担うかかりつけ医を支援し、充実した二次医療を提供できるよう運営した。紹介患者への高次医療の提供、救急医療の提供、医療機器の共同利用、地域の医療従事者に対する研修などを実施し、地域医療全体の質の向上に寄与した。

介護老人保健施設「よつづか」・訪問看護ステーション・ケアプランサービス・在宅医療連携拠点事業（むーみんネット）などの共同利用施設と協力し、地域住民

のニーズに応える医療提供に努めた。

新型コロナウイルス感染症に対しては、発熱外来（福岡県診療・検査医療機関）、入院患者の受入れ、ワクチン接種を行った。当初、医療従事者等優先接種は県主導の体制が上手く進まなかったため、独自の取り組みとしてまずは会員医療機関の医療従事者の接種を率先して行った。住民接種についても1、2回目接種においては集団接種会場を提供し、延べ人数約5400名の接種を行った。受け入れ入院患者数は延べ137人となった。

2) 赤間腎クリニックの運営（*他2）

宗像医師会病院腎センターの附属クリニックとして、透析治療を行った。

5. 福祉運営事業

1) 介護老人保健施設「よつづか」（*他3）

利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスに努めた。また、安全に配慮しながら、生活安全の維持・向上を目指し、家族や地域住民、保健・医療・福祉機関などと連携し、多職種による総合的な支援を行った。

在宅医療連携拠点事業（むーみんネット）に協力・支援を行った。

2) 在宅支援室

①訪問看護ステーション（*他3）

宗像医師会の共同利用施設として、地域の医療機関、医師会病院、介護老人保健施設よつづか、ケアプランサービスと連携し、利用者により良いサービスが提供できるように努め、ターミナル、難病などの緊急時の対応や土、日、祝日、夜間の体制の強化を図り、医師会訪問看護ステーションとして医療依存度の高い利用者の受け入れなど特徴ある訪問看護事業を行った。また、責任ある質の高いサービスを提供するために、職員研修の充実に努めた。在宅医療連携拠点事業（むーみんネット）に協力・支援を行った。

②ケアプランサービス（居宅介護支援事業）（*継5）

利用者が、医療ケアを受けながら可能な限り自立した日常生活、質の高い療養生活を営むことが出来るようケアプランを作成した。また、医療依存度（医療援助の必要性）が高い方等のケアプラン作成を積極的に受け入れた。宗像医師会の共同利用施設として、地域の医療機関、医師会病院、介護老人保健施設よつづか、訪問看護ステーションと連携を図った。責任ある質の高いケアプラン作成のために、職員研修の充実に努めた。在宅医療連携拠点事業（むーみんネット）に協力・支援を行った。

6. 在宅医療連携拠点事業（むーみんネット）（*他6）

①宗像市・福津市在宅医療・介護連携推進事業

宗像市・福津市から委託を受け、次の事業を行った。

- ・地域の在宅医療・介護の資源情報の把握
- ・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ・切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- ・医療・介護関係者の情報共有の支援
- ・在宅医療・介護連携に関する相談支援
- ・医療・介護関係者の研修

- ・地域住民への普及啓発
- ②福岡県在宅医療提供体制充実強化事業
 - 福岡県からの補助金により次の事業を行った。
 - ・在宅医療機器の共同利用等在宅医療提供体制の充実強化に資する事業

7. 病後児保育事業（すくすくくらぶ）（*他1）

宗像市・福津市在住の病後の幼児及び小児を、昼間に家庭での育児が困難な場合に一時的に預かる病後児保育所を運営し、保護者の「子育てと就労の両立」を支援し、児童の健全育成に寄与した。

8. 地島診療所の運営（*他7）

無医地区に準じる地区として位置付けられている地島の医療環境向上に寄与することを目的として、宗像市地島体験交流センター内にて地島診療所を運営した。

9. 会員共益事業（*他4）

- 1) 宗像医師会会員とご家族の人間ドック受診率の向上に努めた。
- 2) 医療従事者等の永年勤続表彰を行った。
- 3) 会員医療機関が運営する看護学校等へ助成を行った。

10. 一般（法人）事業

1) 保健衛生への貢献

担当理事が中心となって、保健衛生行政に対する様々な協力（介護認定審査会、各種予防接種事業、乳幼児健診、妊婦一般健康診査、特定健診・特定保健指導等）を行った。宗像産婦人科医会、宗像小児科医会と共に宗像医師会出産前後子育て支援事業（ペリネイタルビジット）を行った。前向き子育てプログラム「トリプルP」の普及啓発等支援を行った。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が円滑に行われるよう宗像市・福津市への協力・支援を行った。オミクロン株の感染拡大により1月下旬に宗像地区の自宅療養者は1,000人を超え、一方で福岡県診療・検査医療機関等初期診療を担う会員医療機関においては、検査と診察、保健所への報告、更にはワクチン3回目接種も始まり、大変な状況となった。そこで、会員の先生のご協力を得、一部の自宅療養者について、隔離解除まで経過を追って経過観察等を行って保健所へ報告していただくこととした。

2) 産業保健への貢献

事業所からの産業医紹介依頼及び福岡産業保健総合支援センター福岡東地域窓口からの健康相談の依頼に対応した。

- 3) 医療安全・医療経営・医療保険・介護保険等に関する情報提供、宗像地区感染症速報システムによる感染症に関する情報の迅速な伝達に努めた。
- 4) 医療事故及び医事紛争の防止策の徹底に努めた。
- 5) 男女共同参画

宗像女性医師の会を支援し、女性医師が働きやすい環境整備に努め、宗像地区における女性医師のモチベーション向上に寄与した。

6) 関連団体との連携、交流

福岡県医師会及び福岡ブロック医師会等との定期的な会議及び協議会等に参加した。宗像・遠賀保健福祉環境事務所、宗像市、福津市、宗像地区事務組合等関係機関及び関係団体による宗像地域保健・医療・福祉等連絡協議会を開催した。その他、行政関連部署との連携、交流に努めた。

コロナ禍により、宗像薬剤師会・宗像歯科医師会との交流会である三師会、宗像警察署、宗像地区消防本部との意見交換会は開催しなかった。

(*継1)～(*他7)は、公益目的支出計画における事業番号である。

- *継1：継続事業1 学術講演会・研修会事業
- *継2：継続事業2 夜間休日診療体制整備事業
- *継3：継続事業3 学校検診支援事業
- *継4：継続事業4 地域医療支援病院の運営
- *継5：継続事業5 居宅介護支援事業
- *他1：その他事業1 病後児保育事業（すくすくくらぶ）
- *他2：その他事業2 赤間腎クリニックの運営
- *他3：その他事業3 介護保険事業所の運営（よつづか及び訪問看護ステーション）
- *他4：その他事業4 会員共益事業
- *他5：その他事業5 収益事業（設備設置等による使用料収入等）
- *他6：その他事業6 在宅医療連携拠点事業
- *他7：その他事業7 地島診療所の運営